

ごみ減量大作戦

地球にいいこと



はじめよう

私たちは、便利で豊かな暮らしを送る一方でごみを出し続けています。

ごみを処理する過程では、電気や化石燃料などのエネルギーを必要とし、大量の二酸化炭素が発生します。この私たちの消費生活から発生する二酸化炭素が地球温暖化の一因と考えられ、気温・水温の上昇、海水面の上昇、異常気象など地球規模の影響を引き起こしています。

日常生活における私たちのごみを減らす取り組みは、二酸化炭素の排出量をこれ以上増やさないためにも大切なことです。一人ひとりの小さな心がけが地球温暖化防止の大きな力となります。



たつの市から出るごみの量は？

■平成19年度の搬入量

29,961,550kg

1日平均 82,086kg

25,226,520kg (普通ごみ)

2,075,990kg (大型ごみ)

1,899,800kg (資源ごみ)

759,240kg (その他)

1日平均82tのごみって???

・ごみ収集車(2t車)に換算すると

 が **41台分**

・たつの市の人口で換算すると

$82,086\text{kg} \div 82,042\text{人} = 1.0005\text{kg}$ (平成20年4月末人口)

私たち市民が1日に約1kgのごみを出しています。

これは、約一週間分の新聞と同じ重さです。

(新聞1紙:約140g)

一週間分の新聞は、こんなにたくさん

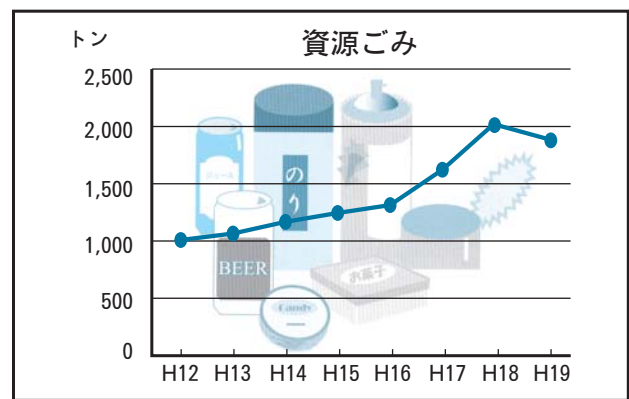
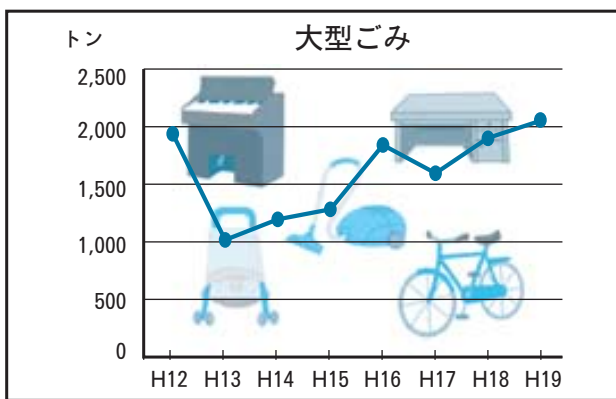
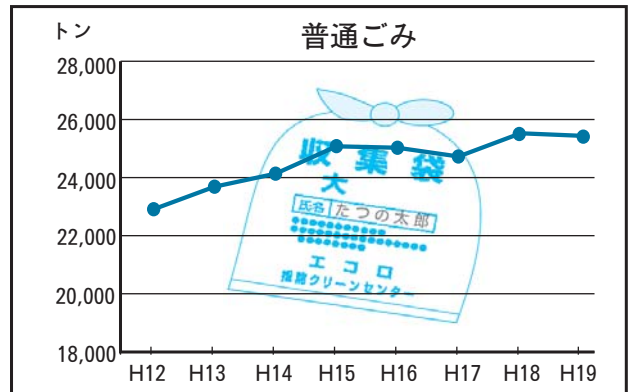


■エコロへのごみ搬入量の推移（家庭ごみ+事業ごみ）

エコロは、揖龍クリーンセンターの愛称でたつの市と太子町のごみを処理しています。

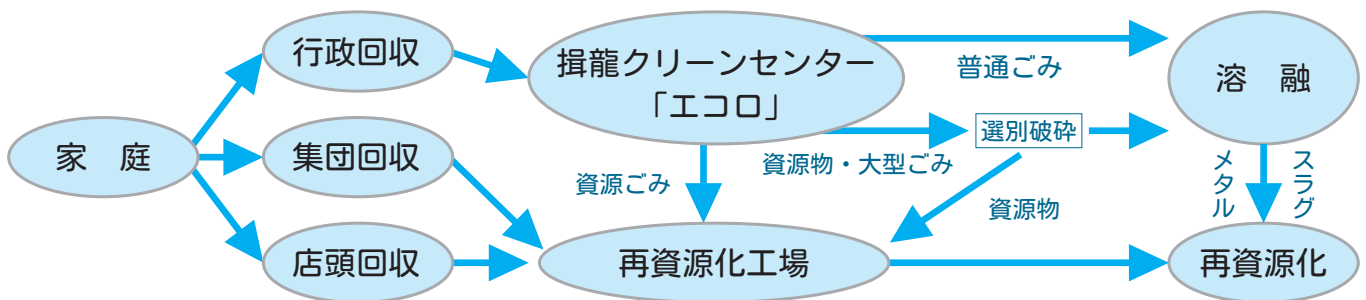
平成12年度からみると、普通ごみ、大型ごみともに増加傾向にあります。

資源ごみは、合併後、新宮町の資源ごみがエコロに搬入されはじめたこと、また分別回収の徹底及び分別品目の追加により増加しています。



ごみはどのように処理されているの？

■回収したごみの流れ



■このマークを知っていますか？ 正しくごみを分別するためのマークです



■収集した資源ごみは



ペットボトル 異物を取り除き圧縮梱包し、再生事業者へ引き渡します。繊維製品などに生まれ変わります。

びん 色により4種類に手作業で選別し、再生事業者に引き渡します。

破砕、洗浄などの工程を経て、ビン・断熱材・道路舗装材などに生まれ変わります。



紙製容器包装 異物を取り除き大型コンテナに入れ再生事業者に引き渡します。再び紙に生まれ変わります。

紙パック 大型コンテナに入れ再生事業者に引き渡します。溶解しトイレトーパーなどの紙製品に生まれ変わります。



缶 磁力選別機でアルミ缶とスチール缶に選別後、機械で圧縮し、再生事業者に引き渡します。アルミ缶はアルミ铸件製品などに、スチール缶はスチール缶や鋼材に再利用されます。

プラスチック製容器包装 異物を取り除き圧縮梱包し、再生事業者へ引き渡します。発電燃料などに再利用されます。



ごみを減らすために

■環境にやさしい **5R** 生活を送りましょう！

リデュース Reduce ごみになるものを減らそう

リペア Repair 修理して長く使おう

リユース Reuse 繰り返し何度も使おう

リフューズ Refuse 不用な物を受け取らない

リサイクル Recycle 原材料に戻し、新たな製品を作ります

ごみを減らすため身近な暮らしの中から
できることから始めましょう



市の取り組み・市内グループの活動を紹介します

たつの市レジ袋削減検討会議

レジ袋を削減します

レジ袋は日本で年間305億枚使用されており、これにより年間60万キロリットルの石油が消費されています。本市では、5月にごみの減量化と地球温暖化防止のため、市民・事業者・行政の協働による「たつの市レジ袋削減検討会議」を設置し、去る8月8日に、たつの市連合婦人会、たつの市ごみ減量化推進会議、たつの市地球温暖化防止活動推進員・協力員連絡協議会と市内に店舗を有する事業者とともに「レジ袋の削減に向けた取組みに関する協定」に調印しました。

10月10日 から下記の店舗では、レジ袋の無料配布が中止となります。

お買い物にはマイバックの持参をお願いします。



※順不同

たつの市室津老人クラブ連合会

海岸を清掃しています

室津老人クラブでは、以前から地区が行っていた清掃活動を引き継ぎ、老人クラブ活動の一環として昭和58年から海岸清掃を実施しています。また、平成6年からは地元の室津小学校の児童も加わり、世代間交流の場ともなっています。昨年は、長年の功績・世代間交流による美化意識の向上が認められ、平成19年度瀬戸内海環境保全地区衛生組織活動功労者(団体)表彰を受賞されました。



「今後もこの活動を続け、美しい瀬戸の海、美しい子どもの心を守っていきたい」と同クラブ代表の中川博愛さんから力強いコメントをいただきました。

龍野友の会

生ごみを堆肥にします

龍野友の会は、「婦人-友」の読者の会で、「家庭は簡素に 社会は豊かに」を目指して、衣食住を生活勉強のテーマとし、家計簿への記帳から毎日の生活を見直しています。本会は昨年60周年を迎え、現在会員43人で生活勉強に励んでいます。



●取組内容

生ごみ分解用ダンボール箱：ダンボール箱を堆肥化の容器として利用し、その中にピートモス・もみ殻くんたん・米ぬかを基材として入れます。微生物が生ごみを分解し、約3ヵ月間生ごみを投入でき、その後は堆肥として利用できます。家庭で手軽にできる生ごみ減量化の方法です。

環境課では、マイバッグ持参運動を推進しています。身近にできることからエコ活動に取り組みませんか。

▶環境課 ☎64・3150 ※生ごみ分解用ダンボール箱については、龍野友の会 代表(小山 ☎0791・29・0558)